



国際会長 (IP) Ulrik Lauridsen(Denmark)

“Let Your Light Shine”

「輝かそう、あなたの光を」

アジア太平洋地域会長(AP)利根川 恵子(川越)

“Be the light for change”

「変革のための光となろう」

東日本区理事(RD) 山田 公平(宇都宮)

“Instil Confidence in our Youth”

「未来のために今、学びと気づきを!未来のために自信を育み、真の喜びに出会う!」

湘南・沖縄部部長(DG) 黒川 勝(金沢八景)

「初心に帰り、新たな船出を踏み出そう」

副題:「ワイズメンズクラブはYMCAとともに」

横浜クラブ会長(CP) 古田 和彦

「楽しんで、できる範囲で、YMCAと地域に仕えよう」

監事 松島 美一

ブリテン 古田・立花・秋元

担当主事 立花 明美

会長 古田 和彦

副会長 秋元 美晴

書記 古賀 健一郎

会計 大高 治

直前会長 古賀 健一郎

<今月の聖句>

田口 努

「喜ぶ人と共に喜び、泣く人と共に泣きなさい。」

(ローマ信徒への手紙 12章15節)

今月のひとこと

2023-24 年度を顧みて

古田 和彦



2023-24 年度も残り一月となりました。昨年7月、会長を拝命し、新年度のクラブ主題を「楽しんで、できる範囲で、YMCAと地域に仕えよう」としました。改めて申し上げますが、どのクラブも会員の高齢化に伴い担い手の不足に悩まされています。その打開のためには新しい会員の獲得が必須であります。私も、もちろん、新会員を一人でも多く迎えたいですが、そのためには、現会員がクラブライフを通して、楽

しき、やりがい、充実感をもてることが大切ではないかと考えます。私たちが支援する横浜 YMCA の活動は多岐にわたっておりますので、ワイズメンズクラブの活動も幅広く多くの分野で行われることとなります。その多くに関わることができる人はそれで素晴らしいことですが、場合によっては、自分の「できる範囲で」いいんだと思います。ワイズメンズクラブは、任意のサービスクラブですから、それぞれの事情や興味関心により、できる範囲の奉仕でよいのではないのでしょうか。翻って考えますと、ワイズメンズクラブの会員となるということだけで、献金を通して、世界のワイズメンと連帯して世界平和と地球的課題解決(RBMによるマラリア撲滅活動やTOFによる発展途上国支援など)に参加していますし、横浜 YMCA の維持会員になることによって、YMCA・地域社会への支援をしていることも覚えておきたいと思います。

さて、23-24 年度ですが、みなさまのご協力のお陰で予想以上の結果になったと喜んでおります。具体的には、8月開催の納涼例会には、部内7クラブすべてが参加、ゲストも12名、合計47名で楽しいひと時を過ごしました。そして、うれしいことに、その中からクロタカさんご夫妻の入会が実現しました。また、9月には恒例の日本語スピーチコンテストを厚木クラブとともに支援し、会の運営や審査員などの役割を果たしました。この関連で、この春には趣旨に賛同しご支援いただいている株式会社村田製作所を訪問し、次年度へのご支援もお願い

いしました。外国人留学生支援ではこれに加えて、チューター活動なども行い、所期の働きを行うことができたと思っています。5月には、つづきクラブ主催の富士山YMCA グローバルエコビレッジでの一泊例会につるみクラブと共に参加しました。当クラブ5月第一例会として行いました。良い企画に合同して参加することは互いにメリットがあります。参加することで他クラブの方々と親しみを深めることができますし、自クラブで完結するより楽に進めることもできます。

7月から始まる次年度も引き続き会長を拝命しております。クラブ会員のみならず、この成果をさらに内実のあるものに高めていけるよう、できる範囲で、ともに力を尽くしていきたいと願っています。

つづきクラブのお招きに、つるみクラブと共に横浜クラブも加えて頂き、年度方針に挙げた「合同例会」を実行に移すことが出来ました。つづきクラブの今城ご夫妻はじめ、皆さまの気配りとおもてなしに感謝致します。



<2024年5月例会実績>

在籍者	出席者	出席率	B F
14名	メン 6名 メネット 0名 コメット 0名 ビジター 17名 ゲスト 5名 合計 28名	57% (メーキャップ 2名を含む) 前月修正 出席率 %	今月分 切手 0g 現金 0円 年度累計 切手 0g 現金 0円

<6月の行事予定>

YMCA サポート・評価・次年度計画

日	曜	時間	行事内容	場所
1	土	10:00	東日本区大会	帯広
4	火	19:00	第102回 Y-Ys 協議会	中央 Y
13	木	18:30	横浜クラブ第一例会	中央 Y
22	土	15:00	湘南・沖縄部第3回評議会	とつか
27	木	17:00	横浜クラブ第二例会	zoom

第一例会報告

大高 治

富士山を巡る合同例会

日時 ; 2024年5月17日(金) 10:00~18日(日) 16:00

場所 ; YMCA 富士山グローバル・エコ・ヴィレッジ、YMCA 東山荘

参加者 ; 横浜クラブ ; 秋元、大高、古賀、斎藤、立花、古田の6名 つづきクラブ ; 9名、つるみクラブ ; 4名、富士宮クラブ ; 4名、YMCA ; 2名、ゲスト ; 3名、(運転手さん ; 1名) の総勢 28名。

富士山の西側のエコ・ヴィレッジでの一泊、東側の東山荘での昼食を頂点に、東から南から、西から北からと文字通り富士山を一巡し、世界文化遺産、日本一の山、秀麗にして大きな山を堪能しました。「また続けたいなあ」との古田会長の感嘆、参加者一同の気持ちを表していると思います。

東名高速道路の全面を塞ぐかの如く現れる富士の姿は半分しか見えなかったのは残念でしたが、残るほぼ全行程100%の好天に恵まれました。プロのガイドも顔負けの今城ワイズの要所要所でのエピソードを交えた説明とリードにより、無理なく見逃しなく予定通り出発地、センター南に戻ることが出来ました。鈴木ワイズは23問のクイズを用意して下さいました。歴史、組織、世界的な広がり等々、それとなくYMCAを囲む我々の常識のレベルを高めて下さいました。

その昔、足柄峠の東は異界でした。我々は異界を脱して、昼食をとり、横浜クラブの4名は真っ白な生シラス井で腹包みを打ち、「富士山は楽しい会でした。恒例になるとよいなあ」との古田会長の想いは、ここから始まっていたのでした。

この合同例会のハイライトはYMCA 富士山エコ・ヴィレッジでのイベントです。富士の広大な裾野のキャンプ場、言われて初めて気付く牛舎の面影の残るメインホール兼集会場や宿泊棟、礼拝堂に豪快にバーベキューを楽しむ施設、三上所長の説明とマネジメントの下で素晴らしい一日を過ごさせて頂きました。また何とこのヴィレッジからは20時過ぎた闇夜でも富士山が見えるのです。ジーンと目を凝らすとシルエットのように富士山の稜線は浮かんで来ます。

バーベキューを楽しんだ後は、ゲストの富山さんとつるみクラブの久保ワイズによるフルートとギターの演奏で、昔懐かしの曲の数々、ゆったりとした時を頂きました。横浜の西区でシニアクラブの活動に係わる報告担当は、シニアが楽しむだけでなく、次代の子供たち

★ 強い義務感をもとう 義務はすべての権利に伴う ★

に残せるような活動は出来ないものか皆と考えて行きたいと言っております。

富士山原始林、樹海に入るとコンパスが狂う一角があるそうです。帰路、バスのナビも誤作動か、同じ精進湖と樹海を2度通る幸運がありました。本栖湖、精進湖を眺め、写真を撮り、千円札と見比べ、西湖、河口湖を遠くに見て、御殿場のYMCA 東山荘に向かいました。



東山荘でも豪華な昼食の前に森田所長から、コロナ禍での困難な時期に、小学生が応援に来てくれたという話を伺い、西側より多い富士の残雪を眺めて帰路につきました。長い歴史と共にスケールの大きな富士山です。多くの喜悲劇とエピソードが残されています。エコ・ヴィレッジで見た「富士山の大研究—知れば知るほどおもしろい日本一高い山」を手に入れました。この立派な本はPHP発行でした。ここからの引用はエピソードが多過ぎて難しいので、古代の人達に倣いこの本でもちょっと触れられている郷土自慢を報告に加えさせて頂きたいと存じます。

「常陸風土記によれば、神祖の尊が新嘗祭の夜、子供である富士山を訪ね一夜の宿を請うたが断られ、別の子である筑波山に宿を請うたところ、快く招き入れられ、歓待を受けました。神祖の尊は、これをいたく喜び、これより後、富士山は常に雪に覆われて登れず、筑波山には人々が行き集い、歌や舞が供され、宴が繰り広げられるようになった」とされています。「今なら何の科学的根拠もない」と一笑に付す賢人が居たことでしょうか、スケールの大きい話を好む古代の人たちは、堂々と「こっちの水は甘いよ」と言う常世の国（常陸の国）の民の言い分を認めて下さいました。

「2024年度 横浜 YMCA 会員総会報告」

古賀 健一郎

5月25日(土)14時から16時半、関東学院大学横浜・関内キャンパス テンネー記念ホールとオンライン併用でYMCA 会員総会が開かれた。総合司会の水田秀子総会準備委員が開始宣言。

【開会礼拝】(司会：総会準備委員の山田貫司氏、奏楽：矢田まゆみ氏)

・讃美歌 21 412 番(1～2節)を賛美し、2024年度基本聖句「知る力と見抜く力とを身に着けて、あなたがたの愛がますます豊かになり、本当に重要なことを見分けられるように。」(フィリピの信徒への手紙 1章 9～10節)が朗読され、祈りが捧げられた。

【開会挨拶】廣瀬泰弘総会準備委員長

【議事】(議長：黄崇子常議員会議長)

①第1号議案「2023年度事業及び会計報告の承認」、第2号議案「2024年度活動方針案及び予算案の承認」(佐竹博総主事)

・2023年度では、2024年の創立150周年に向けた「VISION2034の実現に向けた取り組みが中心に語られた。「今それをやり遂げなさい」という2023年度基本聖句を引用し、地域社会や人々への奉仕活動を進めた一年であったと振り返った。新型コロナウイルスの影響緩和に伴い、横浜YMCAの活動は再開され、来場者の増加や募金活動の拡大が見られた。国際交流も積極的に行われ、アジア各国のYMCAとの対面交流(特に光州・上海の両YMCAとの三都市会議が5年ぶり上海で開催)が実現した。その後グローバルなネットワークの強化が進んでいる。ウクライナから避難してきた人びとに対しては、コミュニティーの形成と自立支援に継続的に取り組んだ。また、国内では多文化共生を目指す取り組みとして、留学生の受け入れ拡大や子どもたちの自然体験活動が継続された。これらの活動を通じて、社会に貢献し、平和を創出する人材を育成していくことが強調された。

・2024年度は「VISION2034」第2期の施策が始まり、青少年支援、多文化共生、ボランティア活動促進、気候変動への対応などが重点的に進められる予定。激変する社会環境の中でも未来を見据え学びを続け、今すべき本当に必要なことを見分けられるように横浜YMCAは取り組んでいくことの重要性を説いた。(上記2024年度横浜YMCA基本聖句を参照)

②第4号議案 常議員の選出の件

・新任5名、改選(2期目)4名、留任1名の選任が行われた。なお、当クラブの齋藤宙也ワイズ、古賀健一郎ワイズが新任常議員として選出された。

③第5号議案 会員表彰の件

・31名のリーダーが奉仕賞を受けた。
・「奉仕の書」には、本間勝氏に加え、横浜とつかクラブの若木一美ワイズが記され、会場で記念の盾を工藤横浜YMCA理事長から授与された。
★尚、全ての議案が承認さRた。

【横浜YMCA理事長挨拶】工藤誠一氏(聖光学院中学校・高等学校理事長)

【閉会礼拝】(司会：総会準備委員の山田貫司氏、奏楽：矢田まゆみ氏)

★ 強い義務感をもとう 義務はすべての権利に伴う ★

・讃美歌 21 412 番(3~4 節)を賛美し、ローマの信徒への手紙 12 章 1~8 節が朗読され。横浜 YMCA—私たちの使命を交読した。

最後に佐竹総主事の感謝の言葉と「YMCA の歌」を皆で歌い、会を閉じた。



横浜クラブからの参加者は、伊藤比朗美、古賀、佐竹、田口、古田

入会にあたって

Mark Klotka

Greetings! My name is Mark Klotka, and I hail from the vibrant city of Chicago, USA. In late November 2021, I embarked on an exciting new chapter of my life, relocating to the beautiful and culturally rich city of Kamakura, Japan, with my wonderful wife, Akemi. I also brought my trusty partner, Jager, a spirited Wirehaired Dachshund.

I was introduced to YMCA Yokohama through Mr Otaka a former colleague from my days in sales with Murata Mfg. Co. (Kyoto). We've remained in contact since the mid 1980's.

Joining the YMCA Yokohama is a heartfelt commitment to a country that has profoundly shaped my life. Through my involvement with the YMCA, I aspire to give back to this wonderful community and contribute to its ongoing prosperity.

Thank you for taking the time to get to know me. I am excited about the future and eager to make a difference in the lives of those around me.

クロトカ明美

皆さんこんにちは。この度は、ご入会のご承認をいただき大変ホッとしております。まだまだ具体的な貢献のできていないマークと私ですが、色々勉強させて頂ければと思います。私は、2022年の秋に外資系金融会社を定年退職致しました。長く社員であったために、定年の日々に戸惑うこともあったのですが、これからの時間は自分にできる貢献をしたいと思っております。ただ今は、またご縁があってお手伝いしている仕事が、予想以上に忙しくなってしまう、労働人口の減少を感じる時もある日々です。

何卒よろしくお願ひ致します。

★ 強い義務感をもとう 義務はすべての権利に伴う ★

近況報告

神さまの不思議な導き

押川 幸男



昨年から東京在住の二人の教会員（幼稚園卒園生と元幼稚園教諭）が沼田教会の礼拝を共に守り、現在、教会役員や幼稚園の理事や監事の働きを担ってくださっています。また、私の赴任前は、奏楽者が4名いたようですが、高齢となったり転居されたりと、ここ数年毎週の奏楽者がいなくて、ヒムステーションでの奏楽となっていました。しかし不思議なことに、今年度から近所の幼稚園卒園生親子が自主的に毎週の奏楽を担ってくださっています。

かつて沼田教会が恵泉幼稚園を支えていましたが、今は、かつての幼稚園関係者が沼田教会の働きを支えています。ここにも神さまの不思議な聖霊の導きを感じ感謝しています。

大阪長野クラブ

白井春夫ワイズを偲んで

古田 和彦

私たちのDBC (Domestic Brother Club) である大阪長野クラブ白井春夫ワイズが去る3月18日天に召されました。白井春夫ワイズは同クラブのチャーターメンバーであり、何代にもわたり会長を歴任し、河内長野市での「水辺クリーンアップ作戦」を展開しました。わがクラブに対しては、ブリテンを毎号送ってくださっていました。まさに、クラブの中心メンバーとしてお働きになりました。数年前から病を得て闘病に日々でしたが、一昨年4月にはクラブ創設45周年を祝い大変お喜びになっていたのが印象的でした。今までのお働きにとお交わりに心から感謝し、追悼の言葉といたします。

第二例会報告

秋元 美晴

日時:5月23日(木)17:00~18:30

場所:Zoomによる開催

出席者:立花、秋元、大高、古賀、古田

協議・確認・検討事項

1. 行事予定

・資料に寄り7月までの予定が示され、了承した。

2. 協議・報告事項

(1) 総会資料作成準備状況

・会則の改正(会費について)を第7号議案に入れる。

・2022-23年度 横浜クラブ総会資料 第5号議案を参考に「2022-23年度 横浜クラブ総会資料」を作成する。

- (2) 東日本区大会(6/1 於: 帯広)
 - ・参加者の確認(大高、古賀、佐竹、田口、立花、古田)

- 5月25日(土) 横浜 YMCA 会員総会
- 5月31日(金) 地域清掃活動/作業療法科3年生寿町炊き出し活動

- (3) 6月例会
 - ・総会準備例会とする。例会当日(6月13日までに各自分担の資料を作成しておくこと。)分担は、4月の第二例会で決定済み。

6月例会プログラム	
日時:	6月13日(木) 18:30~20:00
場所:	中央 YMCA
司会: 古賀健一郎	
1.	開会点鐘および挨拶.....古田会長
2.	ワイズソング・ワイズの信条.....全員
3.	今月の聖句.....田口ワイズ
4.	ゲスト・ビジター紹介.....古田会長
5.	総会準備(資料、役割・内容の確認)
6.	ビジネス・報告.....古田会長
7.	<i>Happy Birthday</i> 松島美一
8.	閉会点鐘.....古田会長
例会報告: 古賀ワイズ	

- (4) 部評議会(6月22日)の出欠について
 - ・出席予定者: 秋元、大高、古賀、古田

- (5) 8月納涼例会準備
 - ① 食事: ビュッフェスタイル
 - ② 飲み物: ビール、ワイン、ソフトドリンク
 - ③ 人数の確定時期
 - 第1次〆切: 8月12日、第2次〆切は: 前日まで。

- ④ 出し物: 久保ワイズの演奏
- ⑤ 費用の決定
 - ワイズメン: 7000円、ゲスト: 5000円

- ⑥ 案内文書の作成と配布
 - チラシに地図をはめ込む。
 - 作成・配布は古田ワイズ

- (6) ブリテン6月号の編集計画を資料により確認

- (7) その他
 - ・大阪長野クラブの白井春夫ワイズご逝去の報あり。古田ワイズがブリテンに追悼文を書くこととした。
 - ・古田ワイズがクロトカ・マークワイズとクロトカ・明美ワイズに「入会にあたって」の原稿を依頼することとした。

7月の行事

日	曜	時間	行事内容	場所
11	木	18:30	横浜クラブ第一例会 総会・部長公式訪問	中央 YMCA
25	木	17:00	横浜クラブ第二例会	Zoom
27	土	15:00	部第1回部評議会	とつか YMCA

当ブリテン及び横浜ワイズメンズクラブに関するお問い合わせは、YMCA 立花 明美にご連絡下さい。
 メール tachibana_akemi@yokohamaymca.org
 電話 045-661-0080

担当主事 立花 明美

新しいメンバーも少しずつ慣れてきました。グローバルキンダーガーデンでは避難訓練を実施し、日本語学科では富士山 YMCA へ一泊研修に行きました。また横浜中央 YMCA は、地域課題にスタッフ/学生共に向き合い、活動を行っています。

- 5月1日(水) 地域清掃活動
- 5月9日(木) 横浜 YMCA 学院専門学校作業療法科 SV 会議 *オンライン
- 5月13日(月) グローバルキンダーガーデン避難訓練
- 5月18日(土) 横浜 YMCA 学院専門学校国際情報ビジネス科オープンキャンパス
- 5月21日(木) グローバルキンダーガーデン ミニコンサート @チャペル
- 5月21日(火) 生麦ケアプラザ対外指導
- 5月22日(水) ~23日 横浜 YMCA 学院専門学校 日本語学科富士山 YMCA 一泊研修
- 5月23日(木) 本牧原地域ケアプラザ対外指導

★ 強い義務感をもとう 義務はすべての権利に伴う ★

